Ver.7

2023/8/1　発行

光除菌 塩ビ床タイル

施工マニュアル

MTSシリーズ

目次

1.取扱い上、特に注意すべき事項 …P2

2.商品仕様および施工材料 …P3

3.施工フロー …P4

4.貼り付け・圧着 …P5

5.仕上げ・養生 …P6

6.引渡前クリーニング …P7

7.取扱上のご注意 …P8

株式会社フジコー

1.取扱い上、特に注意すべき事項

光除菌塩ビ床タイルは、光触媒と抗菌金属を特殊な加工方法で皮膜化しているタイルです。施工方法は、通常のタイルと基本的には変わりませんが、薬剤等との接触で変色する場合があるなど、いくつかの注意点があります。

【保管上のご注意】

注意

製品の保管は、梱包を解かずに平坦な場所で、積載は 8 箱以下で行って下さい。積みすぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態での保管、雨水などによる水濡れは避けて下さい。変形・変質・変色の原因になります。

【施工前のご注意】

注意

光除菌塩ビ床タイルは温度により変形します。施工時の気温が低い場合は、タイルが下地になじみにくく接着不良などの不具合を起こし易いので、室内温度を15℃以上に保って施工して下さい。保管している場所でタイルが冷えている場合は、タイルの梱包を解き、施工前に平坦な場所で室温（15℃以上）に馴染ませてから施工して下さい。

注意

製品は、開梱時に反りやたわみが発生している場合があります。
反りやたわみが発生している場合には、反りやたわみを取除いて施工して下さい。反りやたわみがあるタイルを施工すると、施工後に接着不良などの不具合が発生する場合があります。

【仕上げ・養生/取扱い上のご注意】

注意

光除菌塩ビ床タイルのお手入れには絶対にワックス塗布を行わないで下さい。ワックスの影響で抗菌効果が十分に発揮されなくなります。
ワックス塗布を行わずに美観を保つための特殊な処理をしています。

注意

光除菌塩ビ床タイルの清掃は、強酸、強アルカリ系洗剤を使わないで下さい。タイル表面の皮膜と反応し、変色を起こす場合があります。

注意

光除菌塩ビ床タイルにアルコールをこぼした場合は、速やかに拭取って下さい。長時間放置すると変色する可能性があります。通常のアルコール消毒に問題はありません。

2.商品仕様　および　施工材料

光除菌石目調塩ビ床タイル　全5色

種類	MTS-450/RBT　ローザベータ MTS-450/CBG　クリアベージュ MTS-450/MBG　マーブルベージュ MTS-450/CGR　クリアグレー MTS-450/SGR　ストーングレー
外寸	445×445mm
厚み	3.0mm
梱包容量	14 枚 / 箱（約 2.8 ㎡）
梱包寸法	470×460×50mm（縦 × 横 × 高）
梱包重量	約 15kg/ 箱
推奨用途	病院・介護施設・公共施設など

光除菌木目調塩ビ床タイル　全6色

種類	MTS-915/WHO　ホワイトオーク MTS-915/NAO　ナチュラルオーク MTS-915/HBO　ヘーゼルブラウンオーク MTS-915/BRO　ブラウンオーク MTS-915/CBO　ココアブラウンオーク MTS-915/DBO　ダークブラウンオーク
外寸	900×150mm
厚み	3.0mm
梱包容量	2 0 枚 / 箱（約 2.7 ㎡）
梱包寸法	910×160×70mm（縦 × 横 × 高）
梱包重量	約 14kg/箱
推奨用途	病院・介護施設・公共施設など

適用環境

屋内床：可　屋内壁：不可　厨房床：不可　浴室床：不可　屋外床：不可　屋外壁：不可

推奨する接着剤

以下の条件別に接着剤を選定して下さい。条件に合わない接着剤を使われた場合は、タイルの剥がれなどの不具合が発生することがあります。ご注意下さい。

	強い荷重のキャスターが使われる場所	弱い荷重のキャスターが使われる場所	キャスターが使われない場所			
			吸水性のある下地		吸水性の少ない下地	吸水性のない下地
			一般工法	耐湿工法		
	・ハンドリフトなどの往来の多い場所	・事務椅子などが使われる場所	乾燥した下地（改装下地） 水分指標 8%以下 （高周波水分計モルタル換算値）	湿気のおそれのある下地 水分指標 10 ～ 8% （高周波水分計モルタル換算値）	コンパネ、 木質系下地など ・接着剤の なじみが悪い	金属系下地など ・接着剤の乾燥に 時間を要する
エポグレー S （エポキシ樹脂系）	○	○	○	○	○	○
エポグレー ST （エポキシ樹脂系）	—	○	○	○	○	○
US セメント （ウレタン樹脂系）	—	○	○	○	○	○
東リ低臭 US セメント （ウレタン樹脂系）	—	○	○	○	○	○
US200 （ウレタン樹脂系）	—	○	○	○	○	○
エコ AR600 （アクリル樹脂系）	—	—	○	—	○	—

3.施工フロー

施工は下記施工フローに従って行って下さい。

下地の確認・接着剤の選定

詳細は P3

↓

タイルの割り付け

↓

接着剤の塗布

↓

張り付け・圧着

詳細は P5

↓

仕上げ・養生

詳細は P6

↓

引渡し前クリーニング

詳細は P7

↓

引渡

4.張り付け・圧着

【施工前のご注意】

注意

光除菌塩ビ床タイルは温度により変形します。施工時の気温が低い場合は、タイルが下地になじみにくく接着不良などの不具合を起こし易いので、室内温度を15℃以上に保って施工して下さい。保管している場所でタイルが冷えている場合は、タイルの梱包を解き、施工前に平坦な場所で室温（15℃以上）に馴染ませてから施工して下さい。

注意

製品は、開梱時に反りやたわみが発生している場合があります。
反りやたわみが発生している場合には、反りやたわみを取除いて施工して下さい。反りやたわみがあるタイルを施工すると、施工後に接着不良などの不具合が発生する場合があります。

施工用具

・片ハンドルローラー
・カッター
・タイルローラー

手順

（1）接着剤ごとの所定の待ち時間をとり、目地ずれのないように圧着しながら張り広げて下さい。
片ハンドルローラーを使い、タイル全体を十分に圧着して下さい。

（2）切込みを行うタイルを 1 枚手前のタイルの上に正確に乗せて下さい。定規として使用する別のタイル 1 枚を壁に沿わせて、切込みするタイルの上に重ね、その幅をカットして下さい。
パイプなどがある場合、切込みを行うタイルを 1 枚手前のタイルの上に正確に乗せ、印を付けて下さい。
周囲の何点かを同様に 1 枚手前のタイルに正確に乗せ印を付けて下さい。
印をつないでカッターで切って下さい。

（3）張り付け後、30 分間以内にタイルローラーや 3 本ローラー（45kg ローラー）などで十分に圧着して下さい。

※　作業にあたっては、ご使用になる接着剤の記載内容に従い、実施してください。

5.仕上げ・養生

【仕上げ・養生のご注意】

注意

光除菌塩ビ床タイルのお手入れには絶対にワックス塗布を行わないで下さい。ワックスの影響で抗菌効果が十分に発揮されなくなります。ワックス塗布を行わずに美観を保つための特殊な処理をしています。

使用道具

・布
・雑巾
・メタノール（燃料用アルコール）

手順

（1）接着剤がタイル表面に付着している場合は、固く絞った布、雑巾などで水洗いをして下さい。
ウレタン系、エポキシ系の接着剤が強固に付着している場合は、メタノール（燃料用アルコール）で速やかに除去して下さい。

（2）タイル表面に不備がないかを確認し、接着強度が出るまで 48 時間養生期間をとって下さい。
（接着剤に応じて養生期間を決めて下さい）

（3）養生期間後は固く絞ったモップで表面を水洗いして下さい。

※その他周辺の作業時に、強酸、強アルカリ洗剤などがタイル表面に付着しないように必要に応じて養生を行うなど、注意してください。

6.引渡し前クリーニング

【取扱い上のご注意】

注意

光除菌塩ビ床タイルのお手入れには絶対にワックス塗布を行わないで下さい。ワックスの影響で抗菌効果が十分に発揮されなくなります。ワックス塗布を行わずに美観を保つための特殊な処理をしています。

注意

光除菌塩ビ床タイルの清掃は、強酸、強アルカリ系洗剤を使わないで下さい。タイル表面の皮膜と反応し、変色を起こす場合があります。

注意

光除菌塩ビ床タイルにアルコールをこぼした場合は、速やかに拭取って下さい。長時間放置すると変色する可能性があります。通常のアルコール消毒に問題はありません。

使用洗剤・道具

・弱アルカリ性洗剤（スペースショット外壁用クリーナー/オーブ・テック株式会社）
・モップ
・ポリッシャー　（ナイロンブラシ使用）

手順

（1）掃除機やモップなどを使用し、ホコリや塵を取除いてください。
（2）清掃は、固く絞ったモップで水拭きを行って下さい。
（3）汚れなどがある場合は、スペースショットを水で100倍に薄めたものを使用して下さい。希釈した洗剤を床面に塗布し、固く絞ったモップで、水拭きを行って下さい。
（4）ひどい汚れがある場合は、スペースショットを５倍に薄め床面に塗布し、5〜10分放置後、ポリッシャーと水で洗浄を行って下さい。＜推奨：14インチポリッシャーにナイロンブラシを取り付け350回転/分で使用＞
（5）清掃後にタイル表面に残った汚水は、水を絞ったモップなどで拭き取って下さい。

※強アルカリ系の洗剤（pH12 以上）は使わないで下さい。変色の原因となります。タイルの洗浄だけでなく、周辺の壁や窓を洗浄する際も、タイルへの洗剤の付着を避けるために出来るだけ使用しないで下さい。使用される場合は、洗剤がタイルに付着しないように十分注意して下さい。付着した場合は、すぐに水洗いして拭き取って下さい。
※砥粒の入ったブラシ、パットなどは使用しないで下さい。タイルを傷付けます。
※極端な荷重をかけてのポリッシャー掛けは行わないで下さい。
※ワックス塗布は絶対に行わないで下さい。光触媒効果を損ないます。

7.取扱上のご注意

選択上のご注意

- 床タイルの耐久性は歩行量、使用環境によって異なります。製品の耐久性以上の用途でのご使用は避けて下さい。
- 下地からの湿気の上昇や、摩擦熱や火花の飛び散りが予想される場所では使用をお避け下さい。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色に比べて汚れが目立ちやすくなります。また濃色系やフラットな表面形状はキズが目立ちやすく、エンボスが深い、あるいは細かいほど汚れが残りやすくなりますのでお含みおきください。
- 家具の下などの暗所、密閉されるような環境、高温多湿、酸性ガス（NOx、SOx）などの条件が揃うと床材が変色する場合があります。これらの条件が揃わないように注意し、やむ得ずそのような箇所に施工する際には暗色系の床材を選定してください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 製品の保管は、梱包を解かずに平坦な場所で、積載は、8箱以下で行ってください。積みすぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態での保管、雨水などによる水濡れは避けて下さい。変形・変質・変色の原因になります。
- 重量物ですので取扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いは床タイルの破損だけではなく、傷害や器物破損などを招く場合があります。

施工上のご注意

- 光除菌塩ビ床タイルは温度により変形します。施工時の気温が低い場合は、タイルが下地になじみにくく接着不良などの不具合を起こし易いので、室内温度を15℃以上に保って施工して下さい。保管している場所でタイルが冷えている場合は、タイルの梱包を解き、加工前に平坦な場所で室温（15℃以上）になじませてから施工して下さい。室温と床材に温度差があると施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどをおこすことがあります。
- 製品は、梱包時に反りやたわみが発生している場合があります。反りやたわみが発生している場合には、反りやたわみを取除いて施工して下さい。反りやたわみがあるタイルを施工すると、施工後に接着不良などの不具合が発生する場合があります。
- 施工する場所の環境や下地の状態により、接着剤や施工方法が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 下地は平滑且つ清潔で乾燥して、十分な強度があり、接着力を低下させるような構造的欠陥がないようにしてください。多孔質でもろい下地や粉っぽい下地はプライマー処理を行ってください。
- 不陸は適切なコンパウンドで補修してください。
- 木質系下地の目地部、凹み、釘頭部は適切なコンパウンドで補修してください。床材表面への継ぎ目段差や凹み跡の現出、釘に使用された防錆剤等により床材を変色させる恐れがあります。
- 木質系下地に含まれる防虫剤や防腐剤により床材を変色させる場合がありますのでご注意下さい。
- 鉱物ベースの下地（モルタル・コンクリートなど）で新規あるいは土間床の場合は下地水分を測定してください。コンパウンドや接着剤は床仕上げ材と同様に適切な皮膜もしくはその他の方法で高い残留水分や下地の湿気から遮断しておく必要があります。
- 下地にワックス、グリス、油脂類、塗料などの汚れ、ペン、ラッカーによるマーキングなどが残っていると、接着不良や汚染、変色を発生させる可能性がありますので、完全に除去してください。
- 接着の前に床タイルを一旦仮置きして、色柄の偏りがないか確認のうえ施工してください。
- 接着の際は、床材の指定接着剤を使用し、接着剤指定のくし目ごてで均一に塗布し十分に圧着してください。
- 重量物の移動が想定される場合、下地水分グレードが（一般工法レベル）の場合でも、耐湿工法用接着剤をご使用ください。
- 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は火気に注意し、室内の換気に心がけ、有機溶剤作業主任者立ち合いのもとで行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- タイル同士に若干の寸法差が生じる場合があります。目地ずれが大きくならないうちに調整しながら施工してください。
- 施工中は他業種による汚染・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 施工後、接着剤が十分硬化するまでは通行を制限し、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化や、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので十分な養生期間をとってください。
- 施工直後に養生シートを使用した場合、床タイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、床タイルの反り・突き上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、通気性のあるものを使用し、接着剤が十分硬化してから使用してください。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けないでください。床材を汚染する原因となります。
- これらの施工条件が満たされない場合は、目地隙きや突き上げ、膨れなどを招く可能性があります。これらは、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因となります。
- 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニル床材を燃やすと有害ガスが発生する場合があります。

維持管理ならびに使用上のご注意

- 床タイルは熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接フロアタイル表面に当たることを避けて下さい。ホットカーペットなど暖房器具の熱が長時間にわたり加わると、変質や変色、突き上げや膨れの原因となります。
- 重量物や車輪のしごきによって、床タイルの表面を傷つけたり膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにご注意ください。
- 長期間使用しない部屋では換気を心掛けてください。結露を招き、カビや異臭の発生、床タイルの剥がれ・反り・膨れ・突き上げの可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心掛けてください。
- 床材の汚れの多くは水拭きでとれます。ほうきや掃除機でゴミを取除いた後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- トイレでご使用の際には汚れを放置すると尿素焼けを起こす場合がありますので、こまめに掃除を行ってください。
- しつこい汚れはクリーナーで洗浄し、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- 施工後は使用環境に応じた日常の清掃・洗浄を行ってください。
- 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥除けマットの設置などで雨水や土砂の持込を防ぎ、持ち込まれた際には即座に除去するようにして下さい。床タイルの摩耗、傷つきを防ぎ美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。
- 長時間直射日光があたる場所では変退色する可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。
- 家具やハイヒール等の局部荷重により凹み跡が残る場合があります。
- インクやソース、化学薬品などをこぼしたときは、すぐに濡れたぞうきんで拭取ってください。
- 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く場合があります。
- 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の反り・膨れ・剥がれ・目地隙などがおこる場合があります。維持管理には十分ご注意ください。
- タイルの剥がれ、反り、膨れ、割れなどが生じた場合、即座に補修してください。放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか転倒事故の原因となります。
- ゴム製品に含まれる老化防止剤、家具の塗料や防腐剤・防虫剤・防蟻剤によって、床材が汚染され変退色する可能性があります。使用を避けるか、床に直接ふれないようにしてください。

ご不明な点などのお問い合わせ先

株式会社マスクフジコー　〒802-0077　福岡県北九州市小倉北区馬借 1 丁目 5 番 18 号ランドスペース馬借 2F

TEL：093-513-2450　　FAX：093-513-2453

専用 E-mail：masscfujico@kfjc.co.jp　　ホームページ：https://www.massc.co.jp

フリーダイヤル：0120-80-2450　　月～金 9：00 ～ 17：00（土日・祝日および年末年始は除く）